



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成27年4月号
国民生活産業・消費者団体連合会

国連防災世界会議 関連事業「世界の防災展」に出展

～ 生団連会員企業・団体の防災取組を紹介、岸田外相も来訪し展示を視察 ～

3月14日から18日にかけて、生団連は宮城県仙台市で開催された国連防災世界会議の関連事業「世界の防災展」に出展しました。関連事業全体で国内外から約15万6千人が来場し、生団連のブースにも多くの方が訪れました。また、15日夕方には岸田文雄外務大臣もブースを訪れ、生団連の取り組みについて熱心に説明を聞いておられました。

ブースでは、当連合会の会員企業・団体が従業員やお客さま向けに配布している携帯用防災マニュアルの一斉集合展示や、企業が実際に備蓄している防災用品の展示、イラストを多用した防災取組事例集冊子

「大震災への備え事例集」の配布など、多彩でかつわかりやすく防災取組事例を紹介しました。

来場者には被災経験者も多く、そうした方々からも「事例集が大変わかりやすい」「共有化が大事」など評価をいただくとともに、被災現場の生の声を聞くことができました。展示を通じて、生団連や会員企業・団体の取り組みを一般生活者、市民団体・事業者・行政関係者など多くの皆様に知っていただくことができました。

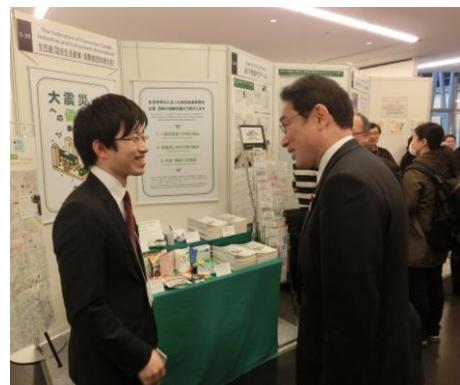
生団連では今後も、災害対策委員会での活動を軸に、生活者と事業者が団結して、災害からいのちとくらしを守るための取り組みを進めていきます。



生団連の展示ブース



企業の実際の備蓄事例を紹介



岸田大臣に生団連取り組みを説明

「大震災への備え事例集」がジャパン・レジリエンス・アワード優良賞を受賞！

3月15日に表彰式が行われた「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」において、生団連の「大震災への備え事例集」発行と周知啓発活動が、優良賞を受賞しました。

同アワードは、全国で展開されている次世代に向けたレジリエンス社会構築への取り組みを発掘、評価、表彰する制度として、2014年11月に創設されたもので、第1回となる今回の表彰式では安倍昭恵首相夫人がグランプリのプレゼンターをつとめるなど、各所からの注目度の高いイベントとなりました。

●大震災への備え事例集は下記URLからご覧いただけます。

<http://www.seidanren.jp/katsudou.html#shinsaisonae>



3月15日に開催された表彰式の様子

第3回 廃棄物リサイクル分科会

3月25日、東海大学校友会館にて第3回廃棄物リサイクル分科会を開催しました。

今回は、分科会委員のユニグループ・ホールディングス(株) 執行役員 グループ環境社会貢献部部長の百瀬則子様と味の素ゼネラルフーズ(株)品質保証・環境部 環境・安全グループ統轄マネージャーの稲木幹也様から、小売およびメーカーにおける「環境および3Rの取組み」について、ご講演いただきました。

それぞれ、持続可能な循環型社会を形成するための取組みについて分かりやすくご説明いただき、また様々な努力や工夫がなされていることがよく分かり、企業における社会的役割について理解を深めることができました。

会の後半では、事務局より、今までの調査から見えてきていること、今後の取組み案について説明いたしました。今後の取組みは、容器包装ゴミの分別収集・リサイクルに関する「現場」の実態・課題・疑問を明らかにするとともに、会員企業における3Rの取組みをまとめ、より多くの生活者に実情を知ってもらうこと、そして、より良き、より合理的な循環型社会の形成を目指して取り組むことといたしました。

～講演～



「まるごと地球をとっておこう
…めぐる・つづく・いっしょに…」
ユニグループ・ホールディングス(株)
執行役員 グループ環境社会貢献部 部長
百瀬 則子 様

「AGFにおける3Rの取組みのご紹介」
味の素ゼネラルフーズ(株)
品質保証・環境部
環境・安全グループ統轄マネージャー
稲木 幹也 様



第1回 アクティブライフ意見交換会



3月24日、アクティブライフ意見交換会を開催いたしました。この会は人口減少・超高齢社会対策委員会の実践活動として、60代から70代の生活者が身近な暮らしの困っていることやもっと良くなって欲しいことを直接聞き、その声を参考に会員の事業を通して生活環境の改善につなげる活動です。

今回は第1回ということで、「暮らしの身近なものについて」というテーマで広くご意見をうかがいました。事前にお答えいただいたアンケート内容を参考に、参加者が困っていること・こうして欲しいと思うことを意見としていただきました。参加いただいた男女22名の皆様からは多くの有意義なご意見をいただき、予定されていた3時間が瞬く間に感じられるほど充実した会となりました。

いただいたご意見は、事務局でとりまとめた上で全会員に提供いたします。会員の皆様におかれましてはぜひご一読いただき、ご自身の事業活動の参考にさせていただきたく願っています。

また第2回以降は今回の議論からテーマを絞り、更に踏み込んだ意見をいただく予定です。今後とも生活者の生の声から暮らしの改善につながる活動を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>